

## おつかれ、良かったぞ！

### 旭市消防操法大会

火災現場における迅速的確な連携と機械操作を競い合う消防団の消防操法大会が6月7日、市民ふれあい広場で行われました。

大会では、約1か月間に及ぶ夜間訓練を行ってきた団員たちが、声を張り上げ、きびきびとした動きを披露していました。一通りの演技が終わり、指揮者の「撤収」の号令が掛かると、緊張していた団員の表情も和らぎ、応援していた団員や周りの人たちからも「おつかれ、良かったぞ」と、称賛の声が飛び交っていました。

大会の結果は以下のとおり。ポンプ車の部、小型ポンプの部共に第1位と第2位のチームは、7月5日に匝瑳市で開催される海匠支部消防操法大会に出場します。



#### 【団体表彰】

ポンプ車の部（出場12チーム）／第1位：旭方面隊第5分団第1部、第2位：旭方面隊第2分団第1部、第3位：旭方面隊第7分団第1部、第4位：旭方面隊第4分団第2部、第5位：海上方面隊第1分団第1部

小型ポンプの部（出場17チーム）／第1位：旭方面隊第6分団第3部、第2位：旭方面隊第2分団第2部、第3位：旭方面隊第5分団第3部、第4位：旭方面隊第3分団第2部、第5位：海上方面隊第2分団第3部

#### 【個人表彰】 ※敬称略

ポンプ車の部／最優秀指揮者：椎名輝夫（旭5-1）、最優秀1番員：高木裕治（旭7-1）、最優秀2番員：篠崎賢一（旭2-1）、最優秀3番員：井上祐司（旭5-1）、最優秀4番員：鈴木惇（旭7-1）

小型ポンプの部／最優秀指揮者：會津健（旭3-2）、最優秀1番員：柴田雅史（旭6-3）、最優秀2番員／齋藤弥一郎（旭7-2）、最優秀3番員／雑賀淳行（旭6-3）



## 一日も早い完成を願い

### 第12回銚子連絡道路整備促進地区大会

銚子連絡道路整備促進地区大会が、5月29日、銚子市青少年文化会館で開催され、早期完成を望む地域住民や関係者など700人が集まりました。

大会では、多くの来賓から応援のあいさつや銚子漁協理事による意見発表が行われ、道路の早期完成をアピールしました。大会の最後には決議案が読み上げられ、会場は大きな拍手に包まれました。また、第2部では放送ジャーナリストの平野次郎さんを講師に「どうなる日本、どうする日本」と題して、基調講演が行われ、会場内の人たちは熱心に聞いていました。



▲あいさつする伊藤市長

## 新鮮な魚介類を求め2万人が来場

旭市いいおか港・水産まつり

▶途中で漁に出て追加したシラス



地元産の新鮮食材が安かった、と袋を手に笑顔を見せる人。県内第2位の漁獲量を誇る飯岡漁港を会場に、そこで水揚げされる新鮮な魚介類や特産品を販売する水産まつりが、6月14日に開かれました。



◀さばいた先から売っていくマグロ

3回目となる今年は、出店数も来場者数も過去最高を記録。手際よくさばかれていくマグロや、シラスにハマグリ、イワシのつみれ汁などを求める人が、至る所に行列を作るほどのにぎわいを見せました。

また、ステージではお囃子や歌謡ショーが会場を盛り上げたほか、船上から屏風ヶ浦などを見る乗船体験にも、多くの家族連れなどが集まりました。

## さまざまな年代が軽スポーツで汗

市民スポーツのつどい

気軽にできるスポーツで体力づくりと交流を図る市民スポーツのつどいが6月7日、旭スポーツの森公園で開かれました。ヘルスパレーボール、グラウンドゴルフ、ティーボールの3種目に、小学4年生からお年寄りまで593人が参加。お年寄りと小学生と一緒にプレーしたグラウンドゴルフでは、ナイスショットを続けるお年寄りに対し、小学生は苦戦の連続。それでも終始和やかな雰囲気の中、一緒に汗を流しました。



▲思わぬところに弾む楕円形のボール(ヘルスパレーボール)

## お気に入りの展示作品も発見

海上公民館まつり



▲押し花を使ったしおり作りにチャレンジ

海上公民館を利用する団体などが6月7日、日ごろの活動の成果を同公民館で発表しました。

館内に展示された作品は多種にわたり、絹糸を使い、色とりどりの模様を浮かび上がらせた御殿まりや、ちぎり絵、七宝焼きなど多数。陶芸作品を見た人は、「すごく気に入った。購入できないのかしら」と口にするほど、どの作品も負けず劣らずの力作ぞろい。ホールで披露された歌や踊り、民謡などとともに、訪れた7,000人を楽しませました。

## 誰にも身近で大切な「人権」を考える

矢指小学校で人権教室

矢指小学校の4年生を対象に、5月26日と6月2日、人権教室が開かれました。「人権って難しく考えないで、相手を思いやる気持ちに気が付いてくれば」と、両日とも先生を担当した人権擁護委員の吉野直子さん(足川)。教材のビデオ「名前…それは燃えるいのち」を見た子どもたちからは、「大切な名前をばかにしたり、あだ名をつけたりするのはいけない。この勉強ができて変わったと思う」「名前のお大切さが分かった」「差別をしてはいけない」などの声が聞かれました。



▲ビデオに見入る子どもたち